

# ばんどう

政策特集 2021

## 坂東市の未来をつなぐ

市民の皆様の思いに寄り添い  
各種政策を推進していきます

### ごあいさつ

平成29年に就任して以来、市民の皆様や団体、事業者、行政などすべての人が力を合わせ「みんなで作るまち」を目指し、市民の皆様の思いに寄り添う市政の実現に向け、子ども・高齢者・障がい者・仕事・暮らし・新型コロナウイルスなどの政策や行財政改革に全力で取り組んでまいりました。

2期目では、市民の皆様が一日も早い終息を願う、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を市の最優先課題として、ワクチン接種や経済対策に鋭意努力しているところでございます。また、新たな産業基盤の構築により、関係人口の創出と交流人口の拡大を図り、賑わいづくりや安定財源、地元雇用の確保につなげるため、アフターコロナを見据え、未来へつなぐための歩みを止めることなく、財政再建のための選択と集中による未来投資を進めてまいり所存でございませう。

今回発行する「ばんどう政策特集2021」は、新規の政策の概要をお知らせすることで、多くの市民の皆様により市の施策に興味を持っていただきたいと考えております。皆様からのご意見やご感想をお寄せいただき、今後も、我々の子や孫の世代が安心して暮らせるよう、持続可能都市「坂東」を目指して誠心誠意努めてまいります。



# 1 コロナウイルス感染症に打ち勝つ

新型コロナウイルスの感染拡大を徹底的に防止し、安心した生活が送れるように最優先で取り組んでいます。



## ワクチン接種

接種を希望する人が迅速に接種できるよう計画的に取り組んでいます。

- 円滑なワクチン接種の推進
- 県による大規模接種の推進

## 商品券で生活支援・経済対策

市民や飲食店、小型店等を支援し、市内経済の活性化に取り組んでいます。

「市民が市民を助ける施策」

- Wプレミアム商品券・地域応援商品券事業の実施

## 差別を許さない社会づくり

あらゆる差別や偏見をなくすため、人権啓発・教育、人権擁護を推進しています。

- コロナ感染症罹患に伴う差別や偏見防止の啓発

# 2 新たな産業基盤の構築

住み慣れたまちで働き続けられるように、活力あふれるまちづくりを目指します。

## 財政再建のための未来投資

雇用の創出と新たな財源確保のため、地区計画の策定や企業誘致に取り組んでいます。

- 神大実地区地区計画の策定
- 新たな企業誘致の推進

## 圏央道を活かした土地利用

地域の魅力発信と賑わいづくりのため、地域利便施設と周辺の整備に取り組んでいます。

- (仮称)坂東パーキングエリアと連結する地域利便施設
- 坂東インターチェンジアクセス・関連道路

## 史跡の保存・整備

知名度向上や交流人口の拡大を図るため、歴史資源の保存に取り組んでいます。

- 歴史的遺産や史跡など観光資源の活用

## 首都圏へのトップセールス

地元産品の知名度アップと販路拡大のため、PR活動に取り組んでいます。

- 生産者と連携したPRの実施



# 3 将来を担う人材への投資

地域の宝であり財産でもある子どもたちの支援に取り組んでいます。



## 子育て家庭への応援

赤ちゃんが生まれた家庭を応援するため、給付金を支給しています。

- 新生児応援臨時給付金の支給

## 子どもたちへの医療の充実

市独自の事業として、18歳までの医療費の負担を軽減し、子育ての安全・安心を支援しています。

- すこやか医療費支援事業の継続

## 1人1台タブレット端末

ICT(情報通信技術)を効果的に活用し、授業の充実につなげます。

- ICTを活用した学びの充実

## 待機児童ゼロの実現

保護者が安心して働けるよう、放課後児童クラブを充実し、待機児童ゼロに取り組んでいます。

- 放課後児童クラブの待機児童の解消
- 適正な定員管理

## 教育環境の充実

各種研修会、学校訪問を実施し、教員の授業力向上や児童生徒の学力向上を図ります。

- 学校・教職員による主体的な学力向上の取り組みの推進

# 4 教育予算の拡充

将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、保護者が安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいます。

## 教育環境の整備・充実

快適に学習できる教育環境の整備に取り組んでいます。

- 学校施設長寿命化計画に沿った事業の推進

## 学校給食費

年少から中学3年生までの多子世帯に対し、給食費の免除や助成に取り組んでいます。

- 給食費の多子世帯保護者負担軽減策の継続

## 保護者の負担軽減

教育、子育てに関する負担軽減策を検討します。

- 放課後児童クラブ保護者負担金の見直し
- 通学手段に応じた援助制度の確立

## 美味しい給食

地元産の食材を使った美味しい給食の提供に努めます。

- 地産地消の食材活用
- 魅力ある献立の企画



# Bando 坂東市の未来をつなぐ

誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めていきます。



# 5 人を育て地域を育てる

地域が主体となったまちづくりの実現に向け、様々な観点から事業に取り組んでいます。

## 市民が主役の市政運営

皆様の自主的な取り組みを生かした、住みよいまちづくりを推進しています。

- 市民協働のまちづくりの推進

## 病児保育・病後児保育

病気のお子さんが家庭での保育や集団生活が困難な時に、一時預かりを実施しています。

- 病後児保育の継続
- 体調不良児保育の実施

## 地籍調査

個人資産の保全や安心を未来につなぐため、スピードアップして事業に取り組んでいます。

- 地籍調査の計画的な実施



## 農業の担い手確保と営農支援

市の基幹産業である農業の支援に取り組んでいます。

- 認定農業者の増加への取り組み
- 意欲ある農業者の経営発展の支援

# 6 安全・安心の確立

快適で安全・安心に暮らすため、基盤整備や防災機能、窓口サービスの充実に取り組んでいます。

## 災害情報の発信

災害に備えた情報発信力の強化に取り組んでいます。

- 情報メール、Yahoo!防災速報アプリ、LINEの登録推進とホームページを含めた活用
- 防災ラジオの普及促進
- 災害時の効果的な情報伝達手段の検討

## 災害協定

災害時における民間事業所との協力的体制構築のため、災害協定締結を促進します。

- 協定内容の整理
- 災害時の体制整備

## さしま窓口センターの充実

サービスの充実と利用促進に努めています。

- 取り扱い業務の充実と利用実態の検証



## デマンドタクシー

市内外の利用を促進し、地域に根差した公共交通を目指します。

- デマンドタクシーの利用促進

## 安心の環境づくり

誰もが安全・安心に暮らせる環境づくりに取り組んでいます。

- 道路・橋りょうの点検・修繕
- 土地の有効活用を図る住環境整備の検討
- ヤード(自動車解体施設)などの土地利用の適正化

## 生活道路

居住環境の向上のため、道路整備に取り組んでいます。

- 生活道路整備の計画的な実施

# 7 活力を創造する

賑わいのある都市を目指し、公共施設の利活用や交通アクセスの向上に取り組んでいます。



## 既存施設の利活用

公共施設の有効活用を進めています。

- 未利用施設の利活用
- 公有財産の有効活用

## 東京方面への交通アクセス

つくばエクスプレス守谷駅までの利便性の向上に取り組んでいます。

- 直行坂東号の利用促進
- 東京直結鉄道(地下鉄8号線)の誘致促進

## 芽吹大橋4車線化

開通から63年、4車線化の実現に向けて引き続き茨城・千葉両県への要望を継続していきます。

- 関係機関への要望
- 渋滞緩和に向けた取り組みの検討

# 8 行財政の効率化

財政再建のため事業の選択と集中を図り、未来に負担を残さない取り組みを進めています。

## 水道事業の経営

安全・安心な水道水の供給に取り組んでいます。

- 加入の促進
- 計画的な配水管整備
- 長期健全計画に向けた見直し

## 下水道事業の経営

事業の健全な経営や計画的な維持管理を図っています。

- 下水道のコスト削減策の検討
- 加入・接続の促進

## 行財政改革

今後も徹底した歳入の見直しや適正化に努めます。

- 地方債(借金)現在高の減少
- 負担金・補助金等の適正化

# 坂東市独自の政策を進めています

## ◆市民が市民を助ける商品券

新型コロナウイルス感染症により低迷した市内経済の活性化や消費拡大を図るため、「Wプレミアム商品券事業（5千円で1万円分）」と「地域応援商品券事業（1万円で1万円分）」を実施しています。

どちらも大規模店を除く加盟店には換金時に5%上乘せされます。消費者と加盟店をダブルで支援しています。



## ◆歴史資源を活用した賑わいづくり

平将門公ゆかりの史跡の環境整備や新たな観光PRを進めることで、交流人口の拡大を図り、賑わいのあるまちを目指します。



史跡を訪れるツアー客



桜の逆井城跡公園

## ◆生まれた赤ちゃんに5万円

国が昨年実施した特別定額給付金（1人10万円）の支給対象外となった令和2年4月28日以降に生まれた赤ちゃん、今年度生まれる赤ちゃんに1人5万円を支給する「新生児応援臨時給付金事業」を実施しています。

■申請状況（令和3年8月末現在）

**342**人 × **5**万円 = **1,710**万円



## ◆仕事と育児の両立支援

保護者の就労形態や多様化する子育てニーズに対応するため、病気の回復期にある保育園児等の受け入れを行っています。今年4月から体調不良のお子さんの保育を始めました。また、様々な事業を行う民間保育園等に運営費用の一部を助成しています。今後も、安定した保育を提供していきます。

■利用状況（令和3年4月～8月の5か月間）

・病後児保育 38件 ・体調不良児保育 27件

## ◆公共交通機関の利用を支援

対象となる高齢者や障がい者、運転免許証を返納した65歳以上の方に、1万5千円分の「公共交通利用券」を交付しています。

対象となる方

- ひとり暮らし高齢者
- 高齢者のみ世帯
- 障がい者
- 運転免許証を返納した方

※詳しくは、お問い合わせください。

対象となる公共交通機関

- ①タクシー
- ②デマンドタクシー
- ③コミュニティバス坂東号
- ④巡回バス（昭和観光）

また、対象となる方が、新型コロナウイルスワクチン接種を受ける際の移動支援を図るため、ワクチン接種専用の利用券を交付しています。

## ◆守谷駅へ「直行坂東号」運行中!

直行坂東号は、東京方面への通勤・通学にご利用いただけるような市が運行している路線バスです。

岩井バスターミナルを発車し、本町→岩井局前→原口→辺田香取神社前→辺田三差路→神田山を経由したあとは停車せずに、守谷駅西口まで直行します。

急行坂東号と合わせて、ぜひご利用ください。



## 新規農業者をサポートしています

新規就農者の増加を図るため、新しく農業を始める方に、経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円を国の補助金を利用して給付しています。

2年前に会社を辞めて憧れだった農業を妻の実家がある坂東市で始めました。ネギとレタスを栽培していますが、天候への対処が難しく失敗することが少なくありません。また、トラクターなど基盤を整備するための経費もかかるので、経営が安定するまでの5年間を支援していただけてとても助かっています。

農業を始めて体力的にかなり厳しいですが、精神的ストレスはなく、健康的な生活を送れています。また、近所の人たちがとても気にかけてくださり、日ごろのお付き合いの大切さを実感しています。新たに農業を始める方は、いろいろな知識を身に付けながら、周りの人と仲良くし地域に溶け込むことが大事だと思います。

今後軌道に乗せて、規模を拡大できればいいなと思っています。



坂東市で農業を始めた堀内さん

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは

2015年9月の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、2030年を年限とする17の国際目標です。

発行/茨城県坂東市 編集/市長公室 政策調査課

〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地 ☎0297(35)2121 / 0280(88)0111

ホームページアドレス <http://www.city.bando.lg.jp/>



坂東市ホームページ



坂東市LINE